

ささえあい通信



宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係 2025.8月号 (Vol.5)

〒901-2205 宜野湾市赤道2丁目7番地1号(宜野湾市社会福祉センター内) TEL(098)892-6525



のいちご塾 × 夏の集中講座 ～子ども達が楽しく安心して過ごせる居場所～

7月23日～31日の全7日間 「夏休みの宿題をやっつけよう！」と題して短期学習集中講座を実施し、初日からたくさんの子ども達で賑わいました。

学習時間には集中して学習を進める姿や分からぬ所は友達と教え合ったり、ボランティアさんに確認し、頭を抱えながらも考え「わかった」と解けたときに見せてくれる笑顔はとても印象的でした。学習を頑張った後はお楽しみタイム。かき氷パーティーやカラオケ、市職員の<遊びの名人>を招きゲーム大会を開催しました。遊びの名人は公民館にある物を使って新ゲーム「ビー玉ジエンガ当て」を考案。ボランティアさんもゲームに参加し、得点を取ると一緒に歓声を上げてみんなで楽しむことができました。

参加した子ども達からは「夏休みの宿題がほとんど終わったよ！」と嬉しそうに見せてくれたり「またかき氷やりたい！」「次カラオケはいつやる？」と次の開催が待ち遠しいようでした。9月からは通常の毎週火曜日16時からの開催を予定しています。今後も地域の子ども達が安心して利用できる居場所づくりに取り組みます。



地域の宝 宮平さんの60年 一商店とともにー

生活支援CDが行く！



野嵩に残る唯一のまちやぐわー【宮平商店】を営む、宮平とよ子さん(93歳)。商店を訪れるとき、とてもチャーミングな笑顔でお出迎え。店を始めたきっかけは「家にいて子育てをしながらできる仕事だったから」と話す宮平さん。現在も、朝は畑の水やりから始まり、掃除、洗濯、食事作りに商店と、活動的に過ごしている。まさに地域のお宝そのものだ！！！50代から始めた三味線は教師の資格をとるほど。「日頃の練習を続けることが自信に繋がる」と話し「やるなら何でも一番になりたい」と前向きな姿は周りを元気にしてくれる存在だ。三味線の先生の勧めで作詞した

ゴールデン民謡賞受賞

【野嵩小唄】作るなら部落の人人が喜ぶ唄を作りたいと、野嵩の名所を巡り

織り込んだ。現在はミニディの三線の日に唄われていて、30年以上にわたり親しまれ歌い継がれている。好きな食べ物は野菜と豚肉！趣味はカラオケ！ゆんたくが好きで、アイデアが豊富。何でも自分で考え、取り組む姿に息子さん達も温かい眼差しを向けている。お店を60年以上続けられている秘訣は「世代をこえていいお客様に助けられている」とにこやかに語る宮平さん。健康長寿の源は30年お店で扱い、自身も毎日食べているという志林川豆腐にあるのか

採れたて新鮮野菜は

